

第2期亀山市子ども・子育て支援事業計画の『量の見込み』と『確保の内容』

1. 幼児教育・保育の提供体制と実施状況

① 1号認定(各年5月1日現在)

子どもが3歳以上で、幼稚園等での教育を希望する場合の認定区分に該当する児童数を表しています。
※満3歳児で、年度内に3号認定から切替となった児童は除いています。(3号認定として把握)

	(第1期計画)				
	H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①	696	703	684	674	662
確保の内容②	806	806	806	806	806
幼稚園・認定こども園	790	790	790	790	790
広域利用	16	16	16	16	16
②－①	110	103	122	132	144
利用実績③	738	711	713	665	633
幼稚園・認定こども園	712	686	688	643	610
広域利用	26	25	25	22	23
③－①	42	8	29	△ 9	△ 29

※「幼稚園・認定こども園」欄には、子ども・子育て支援新制度に未移行の幼稚園を含んでいます。

【確保の内容の見直しのポイント】

令和2年度の段階で、「量の見込み」と「確保の内容」の間には170人(20.5%)の余裕がありますが、純粋な1号認定だけでみるとその差は412人(46.6%)となり、量的には過大供給となっています。

近年の傾向は、公立幼稚園の利用児童数の減少幅が大きいことから、今後、統廃合などの施設再編を行う必要があります。

なお、必要利用数の見込みのうち、2号認定(保育所型)については、未移行幼稚園を利用することが想定されるが、保育所等へ移行することも考えられます。

(単位:人)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	660	616	609	597	608
1号認定(幼稚園型)	443	414	409	401	408
2号認定(幼稚園希望)	217	202	200	196	200
確保の内容②	830	830	830	870	695
幼稚園	380	380	380	380	95
認定こども園	90	90	90	130	240
未移行幼稚園	360	360	360	360	360
広域利用					
②－①	170	214	221	273	87

(参考)

純粋な1号認定①'	443	414	409	401	408
②－①'	387	416	421	469	287

(施設数の想定)

(単位:箇所)

市内の施設数	7	7	7	8	7
幼稚園	4	4	4	4	1
認定こども園	2	2	2	3	5
未移行幼稚園	1	1	1	1	1

【具体的な確保の内容の考え方】

○既存施設の定員を基本とし、次の項目に留意した内容として設定します。

〔確保の内容に反映する内容〕

①現在、進めている認定こども園整備事業の反映(亀山幼稚園＋第一愛護園の統合による認定こども園化)

⇒ R6・△25人(幼:△95、認:＋70)

②公立幼稚園2園を統合し、幼保連携型認定こども園へ移行する ⇒ R6 △150人(幼:△190、認:＋40)

③公立保育所1園を幼保連携型認定こども園へ移行する ⇒ R5・＋40人(幼:－、認:＋40)

※②・③については、1号認定児の利用状況を踏まえ、事業実施時期の調整を行う。

② 2号認定(各年3月1日現在)

子どもが3歳以上で、「保育の必要な事由」に該当し、保育所等での保育を希望する場合の認定区分に該当する児童数を表しています。
※満3歳児で、年度内に3号認定から切替となった児童は除いています。(3号認定として把握)

	(第1期計画)				
	H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①	743	772	750	740	726
確保の内容②	814	814	814	814	814
保育所・認定こども園	799	799	799	799	799
広域利用	15	15	15	15	15
②－①	71	42	64	74	88
利用実績③	734	709	735	739	757
保育所・認定こども園	716	694	715	725	737
広域利用	18	15	20	14	20
③－①	△ 9	△ 63	△ 15	△ 1	31

※R1については、10/1現在

【確保の内容の見直しのポイント】

令和2年度の段階で、「量の見込み」と「確保の内容」の間には66人(8.7%)となっており、やや余裕がありますが、前述の2号認定児の幼稚園利用希望者の多くは民間幼稚園の利用が想定されますが、一部は保育所等の利用へ移行することもあり、この部分を加えると△151人で確保の内容が不足することとなります。

こうしたことから、主に供給量が過大となっている1号認定ニーズを見据えた施設の統廃合において、保育ニーズへの悪影響が無いよう、留意します。

(単位:人)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	690	645	637	623	635
確保の内容②	756	756	756	738	781
保育所	611	611	611	543	466
認定こども園	145	145	145	195	315
広域利用					
②－①	66	111	119	115	146

(参考)

必要利用数の見込み①'	907	847	837	819	835
(幼稚園希望の2号認定)	217	202	200	196	200
②－①'	△ 151	△ 91	△ 81	△ 81	△ 54

(施設数の想定)

(単位:箇所)

市内の施設数	10	10	10	10	11
保育所	8	8	8	7	6
認定こども園	2	2	2	3	5

【具体的な確保の内容の考え方】

○既存施設の定員を基本とし、次の項目に留意した内容として設定します。

【確保の内容に反映する内容】

①現在、進めている認定こども園整備事業の反映(亀山幼稚園＋第一愛護園の統合による認定こども園化) ⇒ R6・△7人(保:△77、認:＋70)

②公立幼稚園2園を統合し、幼保連携型認定こども園へ移行する ⇒ R6・＋50人(保:一、認:＋50)

③公立保育所1園を幼保連携型認定こども園へ移行する ⇒ R5・△18人(保:△68、認:＋50)

※②・③については、1号認定児の利用状況を踏まえ、事業実施時期の調整を行う。

③ 3号認定(各年3月1日現在)

		(第1期計画)									
		H27		H28		H29		H30		R1	
		0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
必要利用数の見込み①		69	454	68	443	68	439	77	436	76	433
確保の内容②	保育所	70	365	70	365	70	365	70	385	70	405
	広域利用	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6
	小規模保育	3	12	6	28	6	28	6	28	6	28
②－①		6	△ 71	10	△ 44	10	△ 40	1	△ 17	2	6
利用実績③	保育所	78	344	74	372	78	363	74	355	65	347
	広域利用	1	10	4	8	4	12	1	10	6	7
	小規模保育			3	12	6	21	12	24	8	25
③－①		10	△ 100	13	△ 51	20	△ 43	10	△ 47	3	△ 54
待機児童数(10/1現在)		17	2	7	7	9	12	15	0	12	5
必要数(待機児童含む)③'		96	356	88	399	97	408	102	389	91	384
③'－①		27	△ 98	20	△ 44	29	△ 31	25	△ 47	15	△ 49

※R1については、10/1現在

【確保の内容の見直しのポイント】

令和2年度の段階で、「量の見込み」と「確保の内容」の間には0歳児：△12人(△10.2%)、1・2歳児：△29人(△7.8%)となっており、ニーズに対応しきれていない状況となっています。今後の利用意向の高まりから量的にも増加傾向が予想されることから、3号認定児の受け皿については、更なる充実が求められています。今後の1・2号認定児の受け皿整備についての留意とともに、3号認定児に特化した対応策も求められます。

【具体的な確保の内容の考え方】

○既存施設の定員を基本とし、次の項目に留意した内容として設定します。

〔確保の内容に反映する内容〕

- ①現在、進めている認定こども園整備事業の反映(亀山幼稚園＋第一愛護園の統合による認定こども園化) ⇒ R6・0歳：+8人、1・2歳：+27人
- ②公立幼稚園2園を統合し、幼保連携型認定こども園へ移行する ⇒ R6・0歳：+15人、1・2歳：+40人
- ③公立保育所1園を幼保連携型認定こども園へ移行する ⇒ R5・0歳：+11人、1・2歳：+20人
※②・③については、1号認定児の利用状況を踏まえ、事業実施時期の調整を行う。
- ④計画期間の前半において、待機児童の発生する0・1・2歳の受け皿の確保を図るため、民間の小規模保育事業の新設を促進する。
⇒R3・0歳：5人、1・2歳：10人、R4・0歳：5人、1・2歳：10人

※計画上、広域入所等の利用は想定しないが、実際には一定数の利用は見込まれる。

(単位:人)

		(第2期計画)※0歳:3%、1・2歳:1%UP									
		R2		R3		R4		R5		R6	
		0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
必要利用数の見込み①		130	400	136	419	142	416	147	416	152	417
確保の内容②		118	371	123	381	128	391	139	411	162	478
特定教育・保育施設	保育所	71	258	71	258	71	258	67	238	60	215
	認定こども園	22	78	22	78	22	78	37	118	67	208
	広域利用										
家庭的保育事業	計	93	336	93	336	93	336	104	356	127	423
	小規模保育	10	20	15	30	20	40	20	40	20	40
	計	10	20	15	30	20	40	20	40	20	40
認可外保育施設		15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
②－①		△ 12	△ 29	△ 13	△ 38	△ 14	△ 25	△ 8	△ 5	10	61

(施設数の想定)

(単位:箇所)

市内の施設数		14	15	16	16	17
特定教育・保育施設	保育所	8	8	8	7	6
	認定こども園	2	2	2	3	5
	計	10	10	10	10	11
家庭的保育事業	小規模保育	2	3	4	4	4
	計	2	3	4	4	4
認可外保育施設		2	2	2	2	2

2. 地域子ども・子育て支援事業

(1) 延長保育事業

(事業の概要)

標準保育時間(11時間)を超えて実施する延長保育(19:30まで実施する事業)の利用実績を表します。

【実施施設】

公立2園(和田保育園、関認定こども園アスレ)

私立4園(亀山愛児園・川崎愛児園・野登ルンビニ園・なのはな保育園)

(計画値)

	(第1期計画)				
	H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①	257	256	251	248	245
確保の内容②	257	257	251	248	245
②－①	0	0	0	0	0
利用実績(登録児童数)③	76	64	65	76	55
③－①	△ 181	△ 192	△ 186	△ 172	△ 190

(参考)

(単位:人日・箇所)

利用実績(延べ利用回数)	962	1,089	1,455	1,777	1,536
実施施設数	6	6	6	6	6

【必要利用数の見込み】

アンケート調査の数値からの算出した数値は、現在の利用実績に対して著しく過大な数値となっていると考えられるため、実績値を基に設定します。

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	234	229	226	222	223

(単位:人)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	80	80	80	80	80
確保の内容②	80	80	80	80	80
②－①	0	0	0	0	0

【確保の内容の考え方】

○現行の実施施設により対応します。

(2)放課後児童健全育成事業
(事業の概要)

就労等の理由で保護者が昼間家庭にいない児童(小学生)を対象に、適切な遊びと生活の場を与え、その健全育成を図る事業です。

(各年3月末現在)

(単位:人)

	(第1期計画)				
	H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①	574	584	599	601	605
確保の内容②	574	584	599	601	605
②-①	0	0	0	0	0
利用実績(登録児童数)③	463	485	538	609	652
亀中校区	163	165	190	218	247
亀山西小	71	58	61	69	99
亀山東小	40	63	73	85	89
亀山南小	14	17	19	19	15
昼生小	13	6	12	15	18
白川小	0	0	0	0	0
神辺小	25	21	25	30	26
中部中校区	242	251	276	321	331
井田川小	149	150	167	195	186
川崎小	70	84	99	116	135
野登小	23	17	10	10	10
関中校区	58	69	72	70	74
関小	45	52	59	57	58
加太小	13	17	13	13	16
③-①	△ 111	△ 99	△ 61	8	47
施設数 新設	3	1	3	0	0
施設数 総数	15	16	19	19	21

※施設数は支援の単位

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	751	786	732	724	638
低学年	523	547	510	504	444
亀中校区	192	201	187	185	163
中部中校区	259	271	252	250	220
関中校区	72	75	71	69	61
高学年	228	239	222	220	194
亀中校区	79	83	77	76	67
中部中校区	127	133	124	123	108
関中校区	22	23	21	21	19
確保の内容②	740	820	820	820	820
亀中校区	300	300	300	300	300
中部中校区	340	420	420	420	420
関中校区	100	100	100	100	100
②-①	△ 11	34	88	96	182
亀中校区	29	16	36	39	70
中部中校区	△ 46	16	44	47	92
関中校区	6	2	8	10	20
(施設数)	(単位:箇所)				
総数	22	24	24	24	24
亀中校区	8	8	8	8	8
中部中校区	11	13	13	13	13
関中校区	3	3	3	3	3

【確保の内容の考え方】

○確保の内容は、支援の単位毎の上限を条例に定める概ね40人以内とした各施設の受入可能数で表記しています。

○条例に基づく経過措置は概ね5年としていますが、一人当たり面積を確保できる範囲で、緊急的に措置を行うことで、令和2年度の不足分は解消が可能です。

○各年度に増加する支援の単位は、次の想定で算出しています。

R3:井田川小・川崎小で1支援単位 ※民間事業者を想定

(3)子育て短期支援事業

(事業の概要)

保護者の疾病・その他の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合及び経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合等に、児童養護施設その他の保護を適切に行うことのできる施設において一定期間、養育・保護を行うことにより、児童及びその家庭の福祉の向上を図ることを目的とする事業です。

(各年3月末現在)

		(第1期計画)				
		H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①		65	65	64	63	62
確保の内容②		65	65	64	63	62
②－①		0	0	0	0	0
利用実績	世帯数	1	3	2	2	3
	人数	1	6	6	5	3
	日数③	5	32	20	25	24
③－①		△ 60	△ 33	△ 44	△ 38	△ 38
施設	小規模児童養護施設(市内)	未設置	未設置	未設置	未設置	未設置
	委託施設数(市外)	10	10	10	8	8

(単位:人日)

		(第2期計画)				
		R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①		76	72	72	70	71
確保の内容②		76	72	72	70	71
②－①		0	0	0	0	0

(単位:箇所)

施設	小規模児童養護施設(市内)	1	1	1	1	1
	委託施設数(市外)	8	8	8	8	8

【確保の内容の考え方】

○子育て短期支援事業は、市外の8施設に委託を行い、サービスの提供を行います。

○令和2年度から市内に小規模児童養護施設が開設することで、サービス利用児の受入窓口が市内に開設されるます。これによって、利用者の利便性は大きく向上するため、利用数も一定の増加する可能性があり、アンケートから算出される必要利用数に近づくことが想定されます。

(4)地域子育て支援拠点事業
(事業の概要)

子育て家庭のニーズに合わせて、幼稚園・保育所などの施設や地域の子育て支援等から必要な支援を選択利用できるように、情報の提供や相談・援助を行う事業です。

(各年3月末現在)

		(第1期計画)				
		H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①		2,192	2,149	2,133	2,166	2,098
確保の内容②		2,192	2,149	2,133	2,166	2,098
②－①		0	0	0	0	0
利用実績	月平均③	2,911	3,274	2,936	2,803	2,615
	(年間)	34,932	39,293	35,229	33,638	31,382
③－①		719	1,125	803	637	517
施設数		5	5	5	5	5

(単位:人回/月・箇所)

		(第2期計画)				
		R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①		2,713	2,764	2,719	2,690	2,659
確保の内容②		2,713	2,764	2,719	2,690	2,659
②－①		0	0	0	0	0
施設数		5	5	5	6	7

【確保の内容の考え方】

○総合保健福祉センターのあいあいっこや、幼保連携型認定こども園2園、保育所2園の実施する地域子育て支援センターの計5施設において、事業を実施します。

(5)一時預かり事業
(事業の概要)

保護者の急な用事や短期のパートタイム就労等、子育て家庭の様々なニーズに合わせて子どもを一時的に預かる事業です。

①1号認定児を対象とした一時預かり

1号認定児を対象とした一時預かりの利用実績を表します。

【実施施設】 公立1園(関認定こども園アスレ) 私立2園(みずきヶ丘どうはく幼稚園、亀山愛児園)

(計画値)

	(第1期計画)				
	H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①	2,210	2,232	2,170	2,140	2,099
確保の内容②	2,210	2,232	2,170	2,140	2,099
②－①	0	0	0	0	0
利用実績(登録児童数)③	10,448	8,507	7,828	8,073	9,250
③－①	8,238	6,275	5,658	5,933	7,151

(参考)

利用実績(延べ利用児童数)	206	165	209	195	264
---------------	-----	-----	-----	-----	-----

【必要利用数の見込み】

アンケート調査の数値からの算出した数値は、現在の利用実績に対して著しく過少な数値となっていると考えられるため、実績値を基に設定します。

なお、年度間の必要利用数の推移の傾向は、アンケート調査の増減の傾向を用います。

(単位:人日)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	1,986	1,856	1,833	1,794	1,829

(単位:人日)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	8,820	8,220	8,120	7,950	8,100
確保の内容②	8,820	8,220	8,120	7,950	8,100
②－①	0	0	0	0	0

【確保の内容の考え方】

○現行の実施施設により対応します。

②2号認定児、それ以外を対象とした一時預かり

2号認定児を含め、それ以外の児童を対象とした一時預かりの利用実績を表します。
【実施施設】 私立2園(野登ルンビニ園・なのはな保育園) ファミリー・サポート・センター

(計画値)

	(第1期計画)				
	H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①	5,259	5,281	5,154	5,090	5,002
確保の内容②	3,030	4,030	4,030	5,030	5,030
保育所等	2,130	3,130	3,130	4,130	4,130
ファミリーサポートセンター	900	900	900	900	900
②－①	△ 2,229	△ 1,251	△ 1,124	△ 60	28
利用実績(延べ利用数)③	1,464	2,167	2,156	2,408	2,220
③－①	△ 3,795	△ 3,114	△ 2,998	△ 2,682	△ 2,782

【必要利用数の見込み】

アンケート調査の数値からの算出した数値は、現在の利用実績に対して著しく過大な数値となっていると考えられるため、実績値を基に設定します。

なお、年度間の必要利用数の推移の傾向は、アンケート調査の増減の傾向を用います。

※実績値の平均対象は、H28～R1の4年間
(単位:人)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	49,439	46,208	45,633	44,664	45,526

(単位:人)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	2,240	2,090	2,070	2,020	2,060
確保の内容②	2,240	2,090	2,070	2,020	2,060
②－①	0	0	0	0	0

※実績との大きな乖離があるため、実績値ベースに量の見込みを見直す

【確保の内容の考え方】

○現行の実施施設により対応します。

(6) 病児保育事業・ファミリー・サポート・センター事業(病児緊急対応強化事業)
(事業の概要)

保育園等に通う子どもが病気にかかり、集団保育を受けることが困難な場合、一時的に子どもを預かる事業です。

(計画値)

	(第1期計画)				
	H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①	1,945	1,937	1,902	1,881	1,855
確保の内容②	検討	検討	検討	検討	検討
②-①	-	-	-	-	-
利用実績③	13	8	3	1	8
病児・病後児保育事業	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	13	8	3	1	8
③-①	△ 1,932	△ 1,929	△ 1,899	△ 1,880	△ 1,847

【必要利用数の見込み】

現状、亀山市では通常の病児・病後児保育事業は実施しておらず、ファミリー・サポート・センターでの対応以外の実績がなく、必要利用数の見込みとの差の確認は難しい状況です。アンケート調査の数値については、前回計画の策定との比較からは大きな差はありませんが、数値はかなり大きく算出されている可能性があります。しかしながら、他の算出根拠がないため、本計画についても前回計画と同様に、アンケート調査の結果を必要利用数の見込みとして設定します。

(単位: 人日・箇所)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	1,502	1,491	1,469	1,449	1,444
確保の内容②	10	15	70	85	150
病児・病後児保育事業	0	0	50	60	120
ファミリー・サポート・センター	10	15	20	25	30
②-①	△ 1,492	△ 1,476	△ 1,399	△ 1,364	△ 1,294
実施施設数	0	1	1	1	2

※実施施設数は、ファミリー・サポート・センター以外の施設

【確保の内容の考え方】

○ファミリー・サポート・センターの更なる利用を促します。

(7)子育て援助活動支援事業(ファミリーサポートセンター事業)
(事業の概要)

乳幼児や小学生の子育て中の保護者を会員として、子どもの預かり等の援助を受けることを希望する方と、援助を行うことを希望する方との相互に助け合う活動に関する連絡、調整を行い、利用する事業です。

(計画値)

	(第1期計画)				
	H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①	650	660	670	680	690
確保の内容②	650	660	670	680	690
②－①	0	0	0	0	0
利用実績③	769	645	797	810	872
③－①	119	△ 15	127	130	182

(参考)

援助会員数(各年3月末現在)	66	70	85	91	101
----------------	----	----	----	----	-----

【必要利用数の見込み】

アンケート調査の数値からの算出した数値は、現在の利用実績に対して著しく過少な数値となっていると考えられるため、実績値を基に設定します。
なお、H28以降、続いている増加傾向を踏まえ、R2以降も同様傾向を維持するものとして必要利用数を算出します。

(単位:人日)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	37	37	37	31	35

(単位:人日)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	880	890	900	910	920
確保の内容②	880	890	900	910	920
②－①	0	0	0	0	0

※過去の実績値を基に量の見込みを算出

【確保の内容の考え方】

○近年の利用実績等から、一定の増加が見込まれるものの、ファミリー・サポート・センターでの対応が可能と考えられます。

(8)妊産婦健診
(事業の概要)

妊婦の健康保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を行う事業です。

(計画値)

	(第1期計画)				
	H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①	6,006	5,922	5,922	5,852	5,782
確保の内容②	6,006	5,922	5,922	5,852	5,782
②－①	0	0	0	0	0
利用実績③	5,782	4,874	5,000	5,279	4,300
③－①	△ 224	△ 1,048	△ 922	△ 573	△ 1,482

(参考)

母子手帳交付数	446	404	418	398	412
産婦検診				660	550

※第1期計画は妊婦検診のみ

(単位:人日)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	6,150	6,094	6,038	5,968	5,898
妊婦検診	5,600	5,544	5,488	5,418	5,348
産婦検診	550	550	550	550	550
確保の内容②	6,150	6,094	6,038	5,968	5,898
妊婦検診	5,600	5,544	5,488	5,418	5,348
産婦検診	550	550	550	550	550
②－①	0	0	0	0	0

(参考)

0歳児数	400	396	392	387	382
------	-----	-----	-----	-----	-----

【確保の内容の考え方】

○現行の実施体制で対応をします。

(9)乳児家庭全戸訪問事業
(事業の概要)

生後4カ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

(計画値)

	(第1期計画)				
	H27	H28	H29	H30	R1
必要利用数の見込み①	429	423	423	418	413
確保の内容②	429	423	423	418	413
②－①	0	0	0	0	0
利用実績③	440	420	370	401	380
③－①	11	△ 3	△ 53	△ 17	△ 33

(単位:件)

	(第2期計画)				
	R2	R3	R4	R5	R6
必要利用数の見込み①	400	396	392	387	382
確保の内容②	400	396	392	387	382
②－①	0	0	0	0	0
(参考)					
0歳児数	400	396	392	387	382

【確保の内容の考え方】
○現行の実施体制で対応します。